



万里一空

御津中学校 校長室だより
令和8年7月17日 No.16

令和8年度1学期終業式 式辞

皆さんは、この1学期はどうでしたか、私は、この1学期は本当に「気持ちの良い学期」でした。皆さんの清々しい挨拶、日々の授業に真剣に向き合う姿、そして行事で見てくれた団結力。そのどれをとっても、学校全体に前向きで心地よい風が吹いていた、そんな素晴らしい数ヶ月間でした。

特に心に残っている、皆さんの「輝き」の場面をいくつか振り返ってみたいと思います。

まず、3年生の修学旅行です。私にとって、今回の修学旅行は、教員人生の中で通算「19回目」の修学旅行でした。これまでに多くの生徒たちと様々な場所を訪れてきましたが、断言します。今回の修学旅行は、私の記憶の中で「最も素晴らしい修学旅行の1つ」となりました。なぜ、そこまで素晴らしかったのか。それは、3年生の皆さんが自分たちで掲げたスローガンを、ただの「お飾り」にするのではなく、「みんなで絶対に守ろう」という強い意志を持ち、それを実際の行動で示してくれたからです。

特に驚かされたのは「時間」に対する意識の高さです。見学地でも、ホテルでも、すべての場面において、定められた時間の「前」に全員の点呼が完了していました。「誰一人遅れない、誰も待たせない」・・・これは口で言うのは簡単ですが、集団行動においてなかなかできることではありません。お互いを信頼し、周囲を思いやる心が行動となって表れた結果です。学校の最高学年として、本当に見事な、誇らしい姿を見せてくれました。

素晴らしい姿を見せてくれたのは、3年生だけではなく、全校生徒の皆さんが輝いた瞬間が他にもありました。

一つは、文部科学省の田村学先生をお招きして行われた「公開授業研究会」です。全国から多くの先生方が皆さんの授業を観に集まりました。その緊張感の中で、皆さんが自分の考えを深め、仲間の意見に耳を傾け、生き生きと課題にアプローチしていく姿は、田村先生をはじめ、参加された多くの先生方から絶賛されました。「この学校の生徒たちは、本当に主体的に学んでいる」と、私自身も鼻が高くなる思いでした。

もう一つは、キューパティーノ市使節団の皆さんをお迎えした時のことです。言葉や文化の壁を越えて、相手を喜ばせよう、安心させようとする皆さんの「おもてなしの心」が随所に溢れていました。笑顔での挨拶、一生懸命な身振り手振りでのコミュニケーション、日本やこの学校の良さを伝えようとする姿勢。皆さんの温かい心が、使節団の皆さんの心に深く刻まれたことは間違いありません。

さて、明日からはいよいよ待ちに待った夏休みが始まります。期間は約1ヶ月あります。この長い休みを迎えるにあたり、皆さんにどうしても心掛けてほしいことがあります。それは、日常の授業から一歩飛び出し、自ら「深い学びの追求」に挑戦してほしい、ということです。

「深い学び」とは、教科書に書いてあることを暗記することだけではありません。「なぜだろう？」と疑問に思ったことをトコトン突き詰め、自分で調べ、体験し、自分なりの答えを導き出すプロセスのことです。

ここで、一つ具体的な例を挙げてみましょう。例えば、普段の社会科や英語の授業で「日本と世界の文化の違い」について触れることがあります。これを「深い学び」に発展させるなら、ただ本を読むだけでなく、実際に足を動かしてみるのです。例えば、「外国人観光客は、日本の何に魅力を感じているのか」という疑問を持ったとします。実際に観光地へ行って観察してみたり、あるいは地域の歴史ある建物や特産品について、地元の職人さんやボランティアガイドの方にインタビューをしたりしてみる。そこで得た「生の声」や「気づき」をもとに、1学期にキューパティーノ市使節団の皆さんと交流した経験を重ね合わせ、「本当の国際交流・おもてなしとは何か」を自分なりにレポートにまとめてみるなんてよいかもしれません。

理科や昆虫が好きな人なら、毎日ベランダで見かけるアリの行動に着目してみる。「アリはなぜ決まったルートを歩くのか」という疑問に対し、砂糖水を置く位置を変えたり、障害物を置いたりして実験を重ね、観察日記をつけてみる。これも立派な「深い学び」です。

このように、「自分で問いを立て、自分で五感を使って調べ、自分なりの結論を出す」。そんな、机の上だけにとどまらない探究の時間を、この夏休みにぜひ作ってください。テーマは何でも構いません。自分の「好き」や「気になる」を、徹底的に追いかけてみてください。

1学期、皆さんは本当に素晴らしい学校を創り上げてくれました。夏休みは、その皆さんの可能性をさらに大きく広げるチャンスです。

健康と安全には十分に気を配り、命を大切に過ごしてください。そして、一回りも二回りも遅く、そして一回りも二回りも「深い人間」になった皆さんと、2学期の始業式で元気な姿で再会できることを楽しみにしています。以上で、1学期終業式の式辞といたします。

令和8年7月17日

豊川市立御津中学校長 峯村 邦泰

